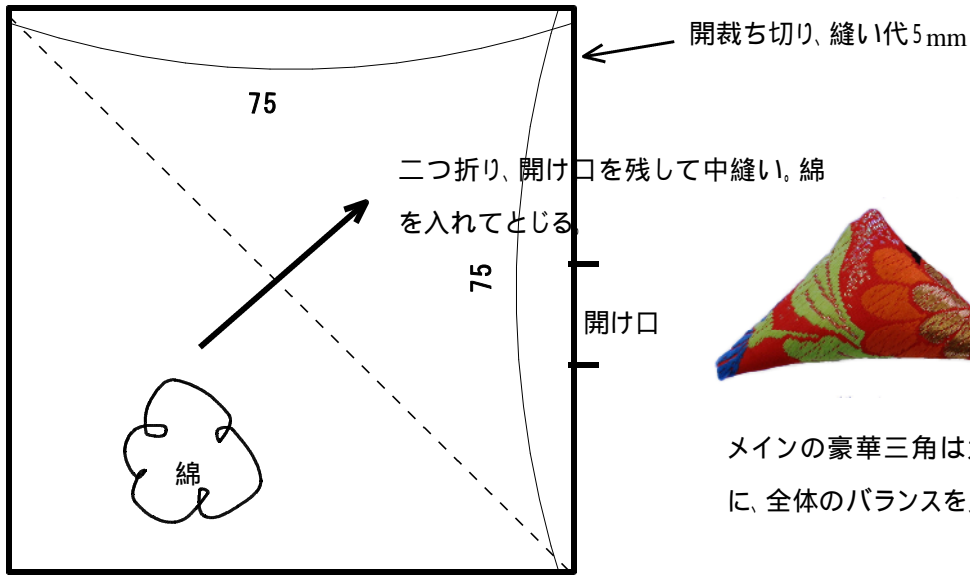
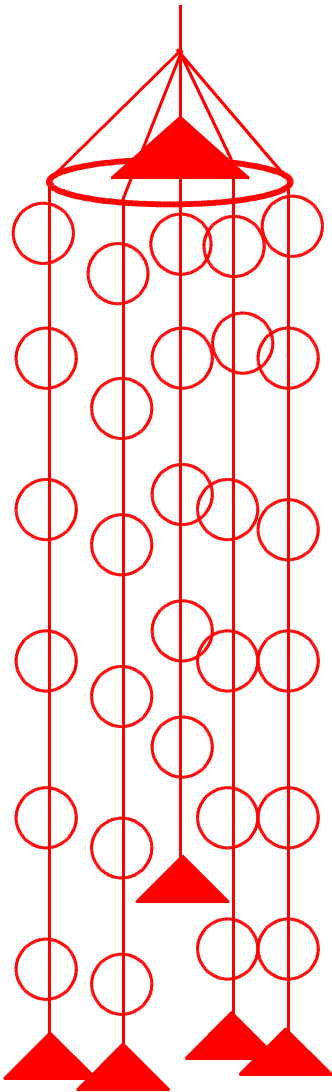


三角の作り方



メインの豪華三角は大きめに、赤三角は小さめに、全体のバランスを見て調整してください。

両端に鈴をつけるなどの装飾より(長期間下げておくと三日月形に曲がってきます)、シンプルな三角をおすすめします。



伝統的な基本飾りは5本下げ×11個飾り 1対110個。

左図は5本×7個 35個飾り。

現在では 3本×5個。 5本×5個。 5本×9個など比較的自由に飾りますが、節句は季節の変わり目の重陽(奇数が重なる日)を寿ぐものですから陽(奇)数飾りが基本になります。

モチーフは1mm程度の唐打ち紐(人五紐)につるします。

せっかく作ったモチーフですから紐の突き抜け飾りにしないで紐に添えて止めると(安い外国製のものには突き抜け止めのものが多い)、バランスを見て付け替えるなど、発展性があります。